

はらむら



議会だより

第115号

平成25年11月8日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



原小「運動会」

■平成25年■
**9月
定例会**

- 9月定例会 2
- 委員会報告 4
- 組合議会等報告 6
- 一般質問 8
- 議会日誌 12

9月定例会

平成25年度第3回定例会は9月2日から19日まで、会期18日間で開催された。

「平成24年度一般会計決算の認定など村長提出議案13件と議員提出議案1件を審議した。

委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎原村固定資産評価審査委員会委員の選任同意

実質収支は4億2千209万2千円であった。

◎一般会計補正予算(第3号)

(内容) ケアハウスひなたぼっこ補助金など。

単年度収支額については1億5千791万2千円の赤字となり、財政調整基金への積立・取崩しを加減した実質単年度収支も4千632万9千円の赤字となった。

◎平成24年度一般会計決算

一般会計決算の状況は歳入総額43億99万余円に対して、歳出総額38億2千649万7千円となり、差引額は4億7千449万3千円であった。

前年度との比較では、歳入は8千228万4千円増(+20%)、歳出は2億3千971万8千円増(+6.7%)となり、翌年度に繰り越すべき財源は5千240万1千円で、

適正である。
・電気自動車の利用促進を政策にするなら充電施設も必要。

◎国民健康保険事業勘定特別会計決算

前年度に比べ世帯数は14戸増、被保険者数は14人減になった。一人あたりの医療費は、全体では27万3千763円で、前年度に比べて3%減。

決算状況は歳入総額が10億3千867万7千円、歳出総額は9億5千903万4千円で前年に比べ歳入が5.6%、歳出も0.4%の増。

収支差引額は7千964万円余の黒字となり、繰越金を差し引いた単年度収支は5千146万円余となった。

◎議会議員の期末手当減額

職員にならって25年12月の期末手当を1.7%減額するもの。

☆反対討論

・国民健康保険税の値上げは加入者の負担を増大させている。国民健康保険事業勘定特別会計への繰り出しをもっと増やすべき。

・電気自動車の充電施設は疑問。

☆賛成討論

・国保会計への繰り出しは



原村「敬老会」

伊藤 耕平さん(大久保)

原村固定資産評価審査委員会委員にられました。

任期 平成25年10月1日から
平成28年9月30日まで

平成25年第3回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

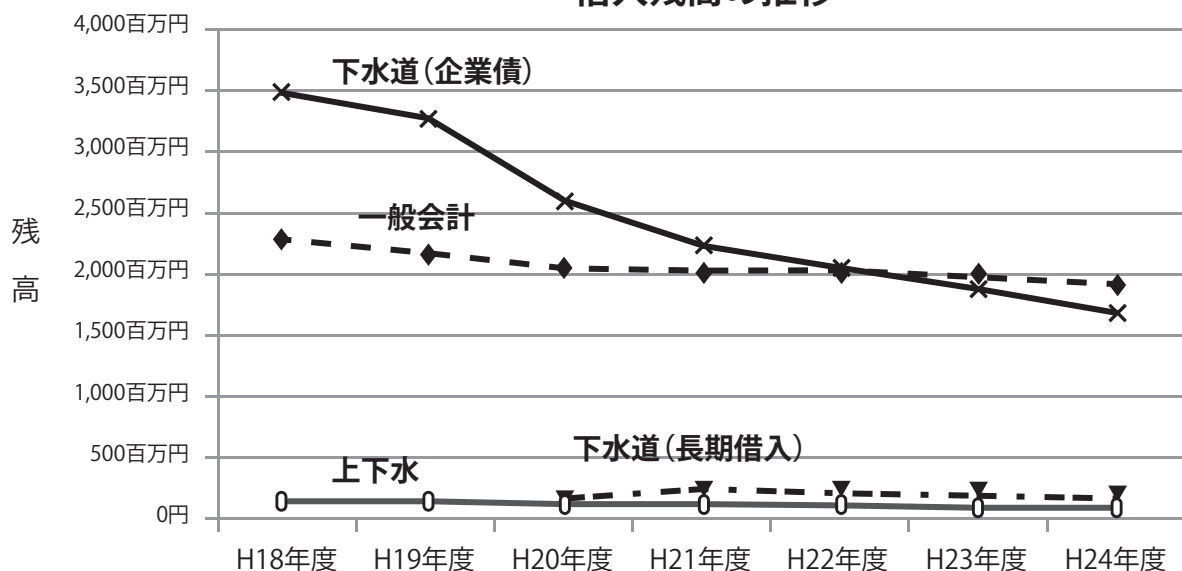
議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小林庄三郎	小池利治	木下貞彦	五味武雄	鮫島和美	矢島昌彦	小池和男	日達徳吉	宮坂早苗	長谷川寛	
《村長提出》												
同意第4号	原村固定資産評価審査委員会委員の任命同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
承認第6号	平成25年度原村一般会計補正予算(第2号)〈先決処分の承認〉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第41号	平成25年度原村一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	平成24年度原村一般会計決算の認定	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	国民健康保険事業特別会計決算の認定	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	有線放送事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	農業者労働災害共済事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
議案第44号	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決/認定
議案第45号	下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決/認定
《議員提出》												
発委第4号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

村債・長期借入金残高

(単位：千円)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	最終償還月
一般会計	2,282,625	2,176,357	2,047,676	2,025,020	2,023,834	1,970,720	1,914,721	H40年3月
診療所	6,268	4,881	3,379	1,756	0	0	0	
上水道	146,035	134,064	125,847	117,450	109,501	101,215	92,579	H38年3月
下水道(企業債)	3,507,162	3,307,358	2,628,023	2,257,945	2,079,169	1,899,947	1,712,737	H45年3月
下水道(長期借入)			160,000	224,000	200,000	176,000	152,000	H32年3月
合計	5,942,090	5,622,660	4,964,925	4,626,171	4,412,504	4,147,882	3,872,037	

借入残高の推移



委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 矢島 昌彦

9月定例会では、村長から提出された補正予算2件、決算の認定3件と今年度予算に関する事務調査をしました。

◎24年度一般会計決算

- ・正規の職員数は平成24年4月1日現在120名。平成24年度9名退職し9名採用。平成25年4月1日現在120名。
- ・公共交通は原村循環線300万円、穴山線110万円赤字補填で決済できた。価値ある運営が出来ている。
- ・収支の状況は歳入総額43億99万円。歳出総額38億2千649万円。翌年に繰越す財源は5千240万円です。質収支額は4億2千209万円の赤字。単年度収支額は1億5千791万円の赤字。実質単年度収支額は4千632万円の赤字。基金は約40億円あり、起債は約37億円。現在は健全な財政といえる。
- ・歳入は基金運用で1千611万円。固定資産税は評価替えて3千567万円と大きく減。
- ・財政調整基金が増。使途を限定されない基金、繰越金を積極的に積み立て、運用。
- ・徴税は公平な税制が守れるよう努めている。
- ・早めに納税相談を。
- ・収入未済額を差押え等滞納処分により1千36万円圧縮。滞納整理機構に669万円回収依頼し、209万円を回収した。
- ・農業委員会は6次産業化を検討、推進が必要と考える。
- ・有機栽培産地確立事業を活用して91農家が堆肥を使用。販売農家も51軒利用している。
- ・観光客の入込みは前年比

2千200人減となり、誘客策が必要。

・ポンプ操法訓練は大会に出場する選手とともに全員の訓練と親睦が図られている。

・AEDは知識が必要。設置施設の関係者は講習を受けている。

反対討論

- ・一般会計から国保会計にもっと繰り出すべき。
- ・電気自動車の充電施設が村民のためになったか疑問。

賛成討論

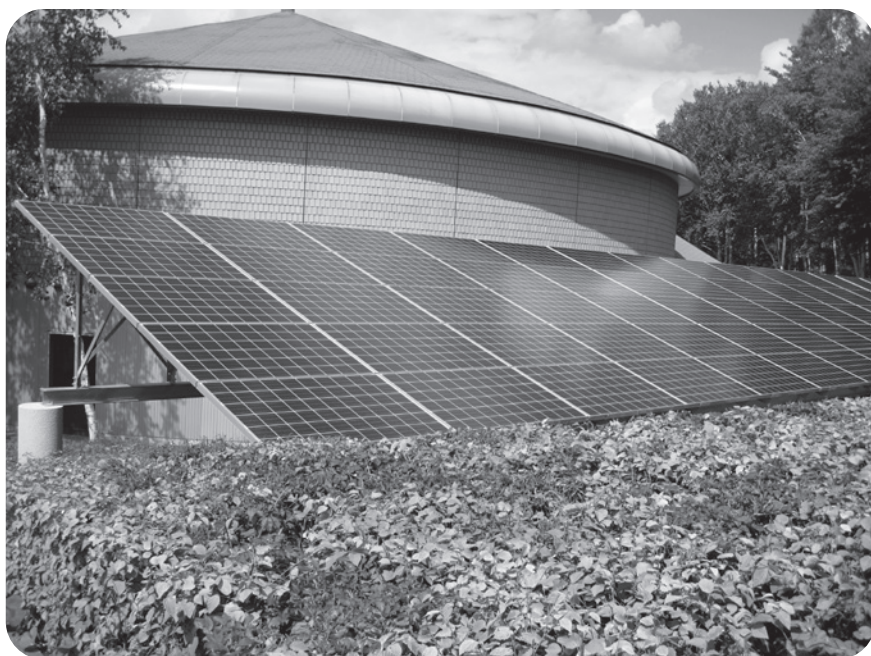
- ・有機栽培産地確立事業は大変良い事業。
- ・成年就農給付金は内容を検討し農業後継者も支援を。
- ・村税滞納繰越分の徴収率が好成績。滞納整理機構を上手く活用した。職員間の協力、努力がみられる。
- ・国保会計へ法定外繰出をして事業を適正維持している。

◎有線放送特別会計決算
 ・有線放送は緊急時の情報伝達のひとつ。受信端末の在庫が50台。新端末の選定と新旧端末併用型セクター装置の検討が必要。新規加入者は17件であった。

◎専決処分・一般会計補正予算(第2号)

・もみの湯の給湯用ボイラーの取替工事483万円。繁忙期を迎え専決処分した。

◎一般会計補正予算(第3号)
 ・県補助金、総務管理費・農業費と消防団員安全装備の助成金による補正。



ソーラーパネル「文化園」

社会文教常任委員会

委員長 宮坂早苗

25年度一般会計・特別会計補正予算、24年度決算の認定について審査した。

◎25年度一般会計補正予算

○全会一致で可決すべきものと決定する。

・軽費老人ホーム施設整備事業に関する国庫補助金歳入と村補助500万円を追加し、合計3千700万円の歳出を行うもの。

◎25年度国民健康保険事業

勘定特別会計補正予算

○全会一致で可決すべきものと決定する。
・24年度精算に伴う国庫返還金など。

◎24年度一般会計の決算の認定

○賛成多数で認定すべきものと決定する。
(賛成3 反対1)

・社会福祉協議会委託事業は、「原村ねこの手サービス」等170万円の増加。
・医療費特別給付金事業は、

・国民健康保険税は、毎年上げており、一般会計からの繰入れをもっとすべきなので反対。

賛成討論

・繰越金が増えたのは、努力の成果なので賛成。

◎24年度国保直営診療施設

勘定特別会計決算の認定

○全会一致で認定すべきものと決定する。
・諏訪中央病院との連携強化「認定指導医」の資格を得て、研修医の受け入れ条件を整えた。

◎24年度後期高齢者医療特別会計決算の認定

○賛成多数で認定すべきものと決定する。
(賛成3 反対1)

反対討論

・75歳以上の差別というところで反対。

賛成討論

・高齢者の医療制度は必要であるので賛成。

事務調査報告

○高速バス利用者駐車場
・高速バスの中央道バス停19台を新設。有効な区画

利用を。

・下り線の降車場所階段は、暗くて危ない。利用者の安全が確保できるように、配慮を。

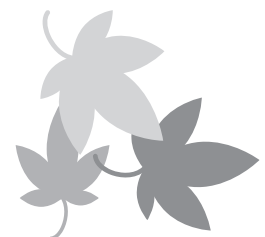
○景観形成推進事業「重点地域」スームラインの景観

○弓振川15号橋

・舗装・橋脚共に傷みが激しい。対応策の検討を。



新しい駐車場



一部事務組合議会報告

諏訪広域連合

第3回定例会は、9月26・27日に開催され、議案2件、決算認定6件を可決・認定した。

諏訪広域連合介護保険特別会計決算認定については賛成多数。その他は全会一致。

連「に業務を移管する方向で作業が進められている。

☆介護施設八ヶ岳寮

24年度在所者数は133名(男65、女68)、原村(7)

☆介護保険

第1号被保険者数5万7千556人、原村2千198人。介護サービス利用状況は、広域全体の月平均で7千793人(利用率84%)、原村321人(利用率90%)で年々増加傾向。

☆広域消防

各署所の備品費等常備消防費、デジタル無線整備費等が主なもの。災害に対する迅速化、総合的な広域消防力の充実等から、27年諏訪広域一元化を計画的に進めている。

☆特別養護老人ホーム恋月荘

24年末在所者数は73名(男11、女62)、原村5名(男1、女4)

施設老朽化、介護制度を取り巻く環境の変化等から26年「長野県厚生

諏訪広域連合 平成24年度決算 (単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	原村負担金	
一般会計	201,479	172,868	28,611	8,805	
特別会計	特養老人ホーム 恋月荘	379,449	318,600	60,849	-
	救護施設 八ヶ岳寮	411,831	388,048	23,783	3,676
	介護保険	15,761,695	15,656,890	104,805	85,649
	諏訪広域消防	2,092,418	1,933,877	158,541	107,250
	ふるさと基金事業	24,741	11,174	13,567	-

南諏衛生施設組合

9月定例会が、9月24日富士見町議会議場で開催された。2件の議案は全会一致でそれぞれ可決、認定された。

◎条例の一部を改正する条例について

主にゴミ処理手数料の改正に関するもので、ゴミ処理手数料の額を現行は1個当たり・トラック1台当たり何円を、10kg迄50円・10kgを増すごとに50円を加算することに改正。新たに減免規定を設けるもの。これにより、不法投棄ゴミ処理手数料減免申請書(役場担当者の確認印が必要)を提出するようになる。

◎24年度会計決算認定について

施設組合は、昭和46年設立から41年が経過した。設立当初は、し尿のみの運営だったが、昭和49年にゴミ焼却施設(平成11年に廃止)平成3年に粗大ゴミ施設及び平成7年に埋め立て

処分場の建設。いずれも老朽化が進んでいるが定期的な修繕工事等の延命化対策により、順調に稼働している。

南諏衛生施設組合 平成24年度決算

	合計	原村負担金
歳入	202,105	49,322
歳出	166,942	-
差引額	35,163	-

(単位：千円)



(7) 第115号 はらむら議会だより

諏訪南行政事務組合 平成24年度決算

会計別	歳入	歳出	差引額	原村負担金
一般会計	74,937	69,297	5,639	5,595
ごみ処理 特別会計	541,269	457,570	83,698	53,233

(単位：千円)

9月25日に、24年度決算
議会が開催された。行政事
務組合一般会計決算（斎場
事業）、ごみ処理事業特別
会計決算、いずれも全会一
致で認定した。ごみ処理事
業特別委員会、今後のご
み処理について、外部委託
新処分場を併用しながら、
考えていくとのこと。
リサイクルセンターにつ
いても、用地の確保ができ
たところから着手する予定
であるとの報告があった。

諏訪南行政
事務組合

諏訪中央病院組合

8月定例会が、8月27日
に開催され、平成24年度決
算案などの提出があり、全
議案を全会一致で可決・認
定した。

利用患者数は、入院が11
万2千217人で5人の減、外
来は19万8千497人で4千
517人の増（ともに前年度比）
となった。

患者数は前年とほとんど
変わらなかったものの、診
療報酬の改定により手術の
手技料が上がったことなど
で、総収益は前年より2億
4千万円の増となるが、人
件費及び材料費代などが増
え、総費用も2億8千700万
円の増となり、総収支で前
年の1億円の赤字から、今
年度は1億4千800万円の赤
字となり、当年度末未処理
欠損金は16億4千26万円と
なった。

介護老人保健施設「やす
らぎの丘」介護老人福祉施
設「ふれあいの里」及び看
護専門学校の特別会計決算
案も全会一致で認定した。

諏訪中央病院組合 平成24年度決算

(単位：千円)

会計名	収入	支出	差引額	原村負担金
病院事業	7,567,125	7,715,280	△148,155	42,650
老人保健施設	411,565	404,159	7,406	2,750
看護専門学校	147,068	132,590	14,478	8,504
老人福祉施設	406,660	376,029	30,631	-



実習風景

一般質問 村政を問う

子育てサロンの 開催日見直しは 小林 庄三郎 保育所給食棟建設に 付随して考える



「村長」村の中に子どもの遊び声が満ちあふれるというのは、村の活性化、発展に欠かせないものだと思います。「子育てサロン」は、平成17年10月に立ち上げ、24年は3千人を超える利用状況となってきた。現在は図書館の2階を利用して、毎週3回火、木、金の午前10時から12時まで行っている。小さなお子さんが自由に遊べる場所の確保は難しいが、「子育てサロン」の必要性についてはいたく感じている。施設がなにかということ、これが一番大きな問題である。保育所で給食棟の建設を計画している。そこに付随して考えていきたい。

（質問）「子育てサロン」は週3回、図書館の会議室を借りて行われているが、最近の利用者も伸びている、開催日数を見直す考えは。

（質問）子育て支援に係る事業全般の、窓口一本化が必要ではないか。保健セン

実践大学校敷地を借りる話しは

小池 利治

計画は休止状態



ターなど保健福祉施設の一体的整備と絡めて検討する考えは。

「村長」事業全体の一本化はなかなか難しいと考えるが、保健福祉課と教育委員会が協議する必要はあると思っている。国も二重行政の解消を図っている。村の体制についても検討をしていかなければいけない状況にはある。

（質問）今年の夏も高温で雨も少なく、セルリー農家は出来が悪くて、出荷量も少ないということであった。この状態が続けば、夏場のセルリー日本一を維持するのは難しく、夏場は休まなければいけないということである。農協も当然対策を考えているということでは、八ヶ岳中央農業実践大学校茅野地籍の土地を借りられるという話しが出ています。セルリー農家からは17戸ほどの希望者もあり、面積も20ヘクタールを越えているとのことである。この話しがどの程度進んでいるのか、また、村としてはどのような対応をするか。

「村長」農協主体で話しが進んでおり、村抜きの話しで、村は関与していない。

JA信州諏訪では、八ヶ岳実践大学校を運営する公益財団法人農村更正協会の理事会では時間を要するという一方で、セルリー農家が借りる計画は休止状態。村としても話しがあれば考える。

（質問）御柱道の交通安全対策について、この道路は上原山工業団地への通勤道路でもあり、朝夕の交通量が多く、対向車の事故が心配である。路上駐車等に対する安全対策は。

「村長」有線と広報で啓発する。



公共施設へ太陽光発電促進を

鮫島和美

千葉県議会議員 鮫島和美

可能な部分から進めている



〔質問〕同時に、省エネに取り組み、電力使用量を下げの必要もある。LED電球への切り替え促進をはかるための、非課税世帯への補助の検討は進んでいるか。

〔村長〕26年度予算に向けて検討したい。

〔質問〕「東電」自体が「放射能汚染は拡大している可能性が高い」と認めるほど、福島原発は「非常事態」となっており、「原発ゼロ」へ進むことが急務である。そのためには、自然エネルギーへの転換も急がれる。村の施設への太陽光発電設置の努力と、25年度までとなっている「太陽光発電補助システム事業」の延長を望む。

(9) 第115号 はらむら議会だより
〔村長〕施設については、交付金を活用しながら設置してきた。今後も同様に推進する。

起業チャレンジ 補助金利用は 木下貞彦 申請書提出2件あった



〔質問〕この制度が出来て半年が過ぎようとしているが、その推移は。

〔村長〕これは大きな会社を興そうというわけではなく、個人企業家を育てたいという趣旨である。8月30日で応募を締め切ったところ、申請書提出2件、相談2件があった。

今後早めに起業チャレンジ計画認定審査委員会を開催し、交付決定をした。商工会とも連携して行きたい。

〔質問〕原村応援大使は現在どのような活躍をされているか。

〔課長〕村出身者、村にゆかりのある方が、1団体2名。特に村長が認められた者1団体9名の方に委嘱をしている。村が実施する行事への協力、村発展のための支援、老人福祉施設での公演、観光宣伝等、原村の魅力を全国広く発信していただいている。

〔質問〕原村特産の高原野菜や豊かな自然環境を生かして地域経済活性化等を図ろうとする「八ヶ岳グリーンフード・フェスティバル構想」とはどのようなものか。

〔課長〕原村観光連盟が事業主体。農業や商業、観光に携わる人々が連携して地域経済の活性化や生活の質の向上を目指す。内容については、3年間色々検証しながら、住民の意見を聞き参加できるメニューを組み立てる。産学官民の協力のもと住民参加型各種イベントの開催、都市住民との交流を行う。

村内の飲食店と連携をして「原村のおいしい物語」というチラシなどを作成して成果を上げていきたい。

いし、「生活扶助」等削減のケースは一部あったが、小額であった。

〔質問〕非課税、保険料減免の基準、就学援助制度等への影響は。

〔質問〕生活保護制度開始以来、今回のような大幅な保護基準引き下げは初めてである。この引き下げで生保受給者の生活は、憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」から、さらにかげ離れたものに追い込まれることになる。生活保護基準引き下げの、村内受給者への影響は。

〔村長〕今回の「引き下げ」により、生活保護の対象からはずされた人はいない。

〔村長〕「引き下げ」は玉突きのように各種制度に連動すると言われている。その意味で利用者に影響を与える可能性は大きい。しかし国の制度の問題の波及なので如何ともしがたい。

サスティナブルハウス

方針は

長谷川 寛

反対が多く進めるわけにはいかない



こちらの建設にも反対するもの16件、進めるべきという提案は1件だった。

これ自体は非常に反対が多く、尊重せざるを得ないと思っている。

村の将来にとっての方向を考えての提案ではあるが進めるわけにはいかないという結論を出した。

（質問） 払沢上フラワー団地の有効利用について、今の区画を売り切るには何らかの手立てが必要ではないか。

何区画かを使って村営住宅の建設などを考えてもいいのではないか。

「村長」 団地の区画外に土地があり、考えてはいるが何も具体的にはなっていない。

（質問） 補助金支給の浄化槽の管理状況は。

「課長」 法定検査を受けていない人は25件で県から検査のお願いをしている。

「村長」 住民から意見や提案を提出してもらった。21件寄せられ両施設に関するもの17件、そのうちど



風疹抗体検査、予防接種補助について

宮坂 早苗

住民医療推進委員会で検討する

害、先天性風疹症候群が起る可能性がある。

長野県においても、長野県健康福祉部健康長寿課が公表している感染症の情報は、風疹の届出数は、23年1例、24年14例、25年1月から4月で30例と、流行が地方に広がってきていると考えられる。ワクチンへの助成は多くの自治体で検討されている。

検査、接種費用の助成をすべきではないか。

（質問） 風疹の流行について、患者の7割以上は男性で、20代から40代が8割を占めていると報告されている。女性は4%が抗体をもっており、11%が低い抗体価である。抗体を持たない、低い抗体価の女性が風疹にかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障などの障

「課長」 厚生労働省では、来年度、抗体価検査について、国と自治体で2分の1の負担。条件は、妊娠を望むが予防接種をうけたかどうかわからない方と、そのパートナーに対し、抗体検査を無料で実施する方針がでている。原村においては、抗体価の検査、あるいは風疹ワクチン接種について、10月の住民医療推進委員会で検討をしていきたいと考えている。



原村でも、妊婦の夫、子ども及び同居する家族、妊娠希望者または妊娠する可能性の高い方に抗体

「**村長**」灰は年間3千t排出する。震災がれきと放射能汚染の事で、小諸市での

受け入れを業者が25年度で中止の報道は本当か。自前の最終処分場が必要ではないか。



諏訪南は最終処分場 必要ではないか

矢島昌彦

組合長会議は自前まで進んでいない

受け入れができなくなった。草津は今後も搬入できるので、事務局は2千tの新たな受け入れ先を探していく。最終処分場は持つて行く所が無くなれば自前で造らなければいけない。組合長会議はそこまで進んでいない。

「**質問**」原村は農業と6次産業など庁内に研究会を立ち上げてはどうか。

「**村長**」私の理念としては、今後、持続可能な農村社会・農村経済を作って行くうえで6次産業は必要だと思う。現在の原村のベースはやめるの大合唱。提案の様な事は必要だが、時期を待つしかない。

「**質問**」観光圏で運行している小淵沢駅からのリゾートバスは八ヶ岳農場に行くべき。

「**課長**」農場は原村の重要な観光拠点と認識している。富士見町と運行しているの
で要望が見送られた。

「**質問**」観光連盟は会長と事務局で他に役員がない。組織体制を整えるべきでは。
「**村長**」観光連盟になって
会員が戻って来ている。観光業者が結束し、適当な数の理事が入って相談しながらの体制が望ましい。会費を納めて運営するような状態になってほしい。

議会報告懇談会のお知らせ

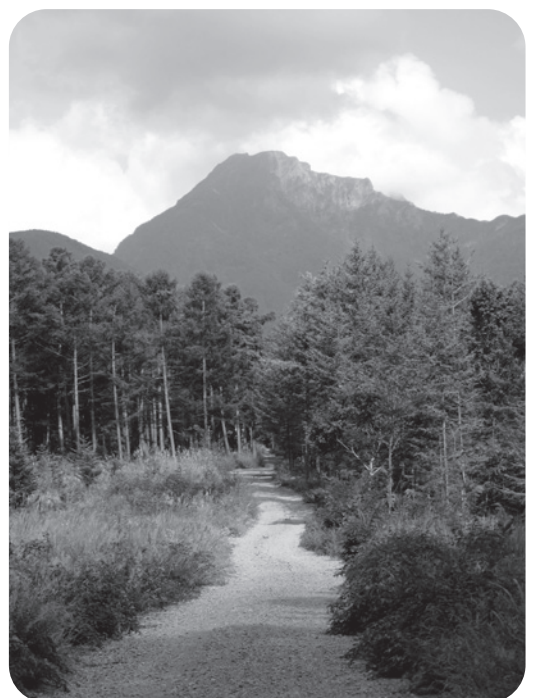
原村議会では、例年どおり今年も議会報告懇談会を開きます。

11月11日(月)午後7:30～
上里公民館

11月13日(水)午後7:30～
柳沢公民館

みなさまお誘いあわせの上
ご参加ください。

広報はら10月号を
お持ちください。



村有林間伐

議会日誌

7月	3日	茅野市・原村青少年健全育成推進大会	6日	原村総合計画審議会	30日	諏訪広域連合議会勉強会
7日	諏訪地区消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会	7日	原村総合計画審議会	30日	第4次原村総合計画(後期基本計画)外部評価答申	
8日	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟草刈り	8日	外部評価作業	9月	2~19日 第3回原村議会定例会	
9日	国民平和大行進	9日	原村図書館協議会視察研修	7日	原村保育所運動会	
11日	議会広報編集委員会	12日	原村総合計画審議会	8日	敬老会	
13日	諏訪郡市国道20号改修・バイパス建設促進期成同盟会総会	13日	外部評価作業	8日	ハケ岳縄文の里マラソン	
17日	老人クラブ連合会ゲートボール大会	14日	岡谷太鼓まつり	11日	全員協議会	
18日	原村図書館協議会	17日	ふるさと大会	12日	原村杯争奪ゲートボール大会	
23日	諏訪湖浄化対策連絡協議会総会	20日	よいしょまつり	14日	原村消防団秋季訓練	
25日	よいしょまつり祭典委員会	21日	原村国民健康保険運営協議会	17日	原小学校運動会	
28日	3施設合同納涼祭	22日	リニア中央新幹線建設促進諏訪地区期成同盟会理事会・総会	20~21日	原中学校もみのり	
	町村議会議員研修会	23日	原村総合計画審議会			
		27日	外部評価作業			
		28日	諏訪地方議会議員交流会			
			原村中央病院組合議会8月定例会			
			諏訪中央病院開院記念式典			
			諏訪広域連合議会運営委員会			
			議会運営委員会			
			商工観光振興懇談会			

**議会の傍聴に
お出かけください**

次回(平成25年12月)の定例会は
12月9日(月)の予定です。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

「訂正」のお知らせ

議会だより第114号
(平成25年8月9日発行)

3ページ5段目
諏訪広域連合議会議員
誤「小池和夫」
正「小池和男」

お詫びして、訂正させていただきます。

23日	木祭	23日	こひつじ幼稚園運動会
24日	南諏衛生施設組合議会定例会	24日	南諏衛生施設組合議会定例会
25日	進協議会陳情来庁	25日	諏訪南行政事務組合議会定例会
26日	原村環境保全審議会	26日	原村環境保全審議会
26~27日	諏訪広域連合議会定例会	26~27日	諏訪広域連合議会定例会
28日	原村戦没者追悼式	28日	原村戦没者追悼式
30日	諏訪中央病院祭	30日	諏訪中央病院祭
	議会広報編集委員会		議会広報編集委員会

編集後記

先日、鈴木夕張市長のインタビュー記事を読みました。その中で、『行政サービスは空気のようなもので、なくなると初めて、その存在を痛感する。例えば地区の集会施設。かつては維持管理を全て市の予算でやっていた。閉鎖する所もあるが、一方で、自分たちで守ろうと管理を市とともにやる所が出てきた。***』と。

原村でも、今後大きな案件があります。対話の中でお互いの理解を図り、確たる方向を見出せればと考えます。

(五味 記)

- 編集委員会
- 委員長 長谷川 寛
 - 副委員長 矢島 昌彦
 - 委員 小林庄三郎
 - 同 小池 利治
 - 同 木下 貞彦
 - 同 五味 武雄